事務局だより

2023(令和5)年度 第3号
2023年9月1日発行

発行：
公益社団法人
新潟県社会福祉士会

〒950-0994
新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階

TEL：025-281-5502
FAX：025-281-5504
Mail：njacsw@poplar.ocn.ne.jp
URL：https://csw-niigata.com/

P2
ソーシャルワーカーデイ報告

P3～
7月は研修ラッシュでした。
各部門からご報告します。

P5
11/19 高齢分野の実践報告会のご案内

P6
（予告）12/17
こども・家庭支援に関する研修

P7

「まじびと」を設置してくださる場所を募集します

P7
ソーシャルワーカーへの
Q & A
作成・公開しました

P8
法人格取得20周年記念事業プロジェクトが始動

Facebook

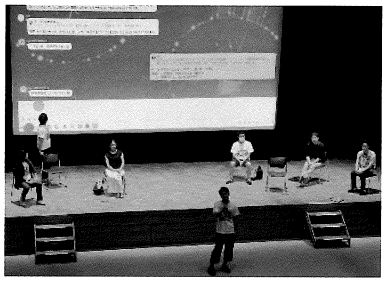
Instagram

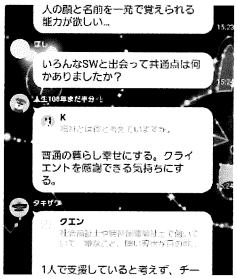
NIIGATA_CSW

Official site

https://csw-niigata.com/

学生と現任者がまじわる ソーシャルワーカーデイ 今夏も終了しました





4年ぶりの集合開催、ユニゾンプラザには約100名の学生や現任者が集い盛会でした。

実行委員は一年前から企画をし、会議を重ねるにつれ熱が入り、アイディアが乱舞！

今年の目玉は、10年目を記念して作成したソーシャルワーカー啓発冊子「まじびと」と「まじびとTシャツ」の製作です。冊子はご覧になりましたか。一行一行に「まじびと」の思いが綴られています。この「まじびと」は県外のSWを目指す学生さんや大学教授からも好評を博しています。そしてTシャツは新潟市在住の点描アーティスト柳生田光利さんオリジナル作品です。SWD当日はもちろんのこと、トレーニングジムやお墓参り、フジロック、夏祭りにとあらゆる場面で着用しているSNS投稿を目にしています☆彡（好評につき、即日完売）

さて、ここからは当日の様子をご紹介しましょう。

物販ブースを展開し、就労支援事業所「きまま舎」さん、新潟青陵大学学生によるコミュニティカフェ「ぶるーすたー。」さんが出店しました。コーヒーやポップコーンの香りに誘われ、ついついリピ買い。暑さと熱気を爽やかなドリンクでクールダウン。

ステージプログラムは二部制で、第一部は、新潟大学歯学部口腔生命福祉学科・中村健准教授と、「まじびと」冊子にご出演の「まじびと」な３人のソーシャルワーカーによるトークセッションを展開。参加者の皆さんからの事前質問を時間の許す限りお応えし、会場からも笑い声がもれていました。第二部は学生の皆さんからの質問に各分野（高齢・障がい・医療・司法など）のソーシャルワーカーがお答えし、会場からのご発言やご質問のほか、LINEのオープンチャットルームを使い、リアルタイムでの掛け合いがライブ感を盛り上げていました。

リモート開催のメリットもありますが、こうして集合し、熱量やその場の雰囲気などを感じることができ、現任SWにとっても、明日からのエールにつながっています。ご参加いただきました皆さま、開催にあたりご協力いただきました会員の皆さま、ありがとうございました。

（報告：SWD2023実行委員　丸山径世）

各部門からのお知らせ

障害者支援班 7/4～5

「障害者の生活支援研修～そのひとらしい人生をどう支援するか～」を開催しました
（この研修は、認定社会福祉士の単位を取得できる研修です）

まずは、基本となる権利や意思決定支援など、ソーシャルワーク実践の基盤となる部分を意識。
そして、実践でも大切なアセスメントや生活歴の理解から、課題解決の手法をしっかり学びました。

2日目は課題解決に向けたケア計画の作成をグループで取り組みました。課題解決ばかりにとらわれず、一人ひとりがその人らしくいられるケア計画の策定では、悩みながらも次第にグループの熱量も上がっていきました。伴走型支援、その人の思いを大切にする支援、この学びをぜひ皆さんの実践に役立てていただきたいです！

受講いただいたみなさま、講師・スタッフのみなさま、2日間大変お疲れさまでした。ありがとうございました！

（報告：障害者支援班担当理事・本間奈美）

災害支援班 6/25

感染症に対応したBCPのオンライン研修を開催しました

当日は当会員だけでなく、県内外約70名の方から参加頂きました。

講師の北垣 智基 先生（天理大学人間学部人間関係学科社会福祉専攻 准教授）より、もし福祉事業所内で感染症拡大に伴う制限が起きた際に押さえておくポイントや法制度について、実際に施設で作成したBCPを題材にご講義をいただきました。BCPはただ作って終わりではなく、作ったものを日々の活動や訓練等で内容を検証し、修正していくことがが重要という事がわかりました。

参加者からは「BCP見直しの参考だけでなく、BCMやACPなど新たに理解することが出来ました。」など声が聞かれました。

今回は感染症対策のBCPでしたが、今秋には、BCPを考える研修会（通所施設編）を行うよう現在企画中です。

（報告：災害支援班担当理事　本多博樹）

ぱあとなあ 7/8

川端伸子先生（左から2人目）と本部運営委員

ぱあとなあ新潟全体会＋成年後見関連専門職合同研修を開催しました

2019年を最後にコロナ禍で見合わせていましたが、4年ぶりの開催。オンライン参加と会場参加を選択できる形にし、100名を超える方からご参加いただきました。

全体会では、ぱあとなあ会員を対象に、事業実施状況報告、家裁の報告書式に関する情報提供などを行いました。

専門職合同研修では、今年3月まで厚生労働省成年後見利用促進室の専門官だった川端伸子先生をお招きし、「持続可能な権利擁護支援体制構築を目指して～第二期基本計画をどう実現するか？～」と題してご講演いただきました。

成年後見制度を巡る現状、地域連携ネットワークの考え方、そして持続可能な制度に向けて専門職がどう考えどのような役割を担うべきなのか。

厚生労働省専門官として見て・感じて・悩んできたこと、また、社会福祉士として制度や専門職に対して思うこと、などを熱くお話いただきました。

成年後見制度利用促進基本計画を他人事（ひとごと）にはせず、支援や制度に関わる専門職だからこそ、地域や制度全体をより良くするという視野と、地域とともに考え推進していくという意識を持って、様々な場や機会をとらえてアクションや発信をしていかなくては、と改めて感じました。

ご講義いただいた川端先生、そしてご参加いただきました皆様、ありがとうございました！

ぱあとなあ 各地区研修

新潟地区 研修報告

2023.7.17

新潟ユニゾンプラザ
参加者15名

●ぱあとなあ全体会（7月8日開催）の報告
●その他意見・情報交換
・通帳を後見人に預けることを拒む方への対応
・被後見人等の恋愛問題にどこまで介入してよいものか
・無年金・収入ゼロで後見報酬が見込めない状況にある場合はどうすればよいか
・利用支援事業の利用の目安

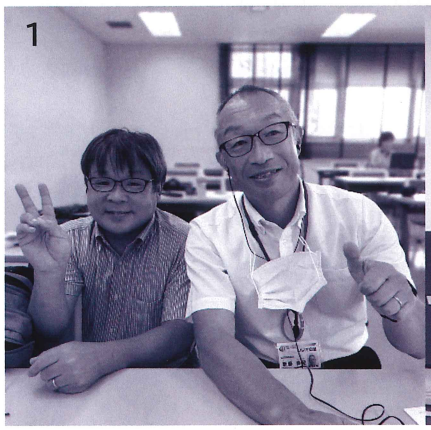
研修後、希望者によるランチ懇親会も楽しみました。
「出張シェフHARu」さんのパエリアランチBOXを頂きました。

介護施設・事業所向け高齢者虐待防止研修
（新潟県県委託事業）

高齢者支援班
7/24

当会が新潟県から委託を受けて実施している介護施設・事業所職員向け高齢者虐待防止研修。今年で3年目となりました。

今年は6/21、6/28、7/24と3回オンラインで実施し、400名を超える方から受講いただきました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。



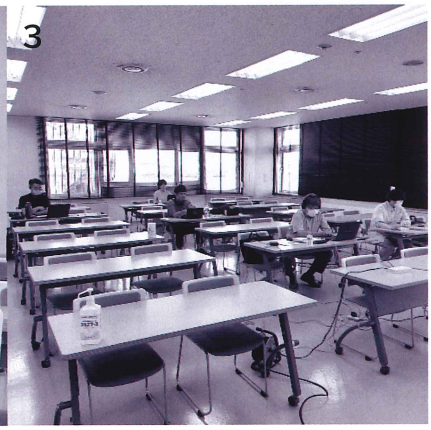


写真
1／講師の田中保雄さん（左）新野直紀さん（右）。新野さんは認知症の周辺症状とアセスメントの重要性に関する講義を担当。
田中さんには実体験に基づくお話を交えてグループワークの解説とコメントをしていただきました。
2／高齢者虐待の定義について講義をいただいた高橋有紀弁護士
3／高齢者支援班運営委員が、ユニゾンプラザでオンライン研修を運営。

当会のプログラムは、高齢者虐待の定義の理解、認知症の周辺症状の理解とアセスメントの重要性などの基本講義に加え、グループワークを多く取り入れ、受講した後は施設や事業所でも実施して、職員のみなさんで話し合ったり気づきあったりしてほしい、というねらいで組み立てています。

受講された方はぜひ、ご自身の施設・事業所、また、地域で研修を展開していってください。

介護現場を取り巻く状況はとても厳しいです。ですが、みんなで「いいね！」って言われるステキなケアを目指していきましょう。

講師、スタッフのみなさま、今年度もお疲れ様でした！

高齢者支援班
11/19
予定

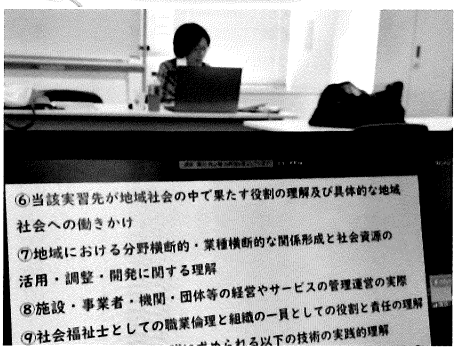
11/19（日） 新潟・佐渡・長岡・上越で参加できます
高齢者支援分野のソーシャルワーク実践報告会

申込受付中！
高齢分野のかたはもちろん、他分野のかたも、ぜひお越しください。

【報告内容（予定）】
①ミクロの実践
喪失体験が重なった認知症高齢者の地域生活支援
報告者　久保田勇介（新潟市地域包括支援センターふなえ）
②メゾの実践
コロナで途切れた施設と地域とのつながり。悩んでもがいた3年間
報告者　坂田直樹（特別養護老人ホーム太陽の園）
③マクロの実践
多頭飼育・飼育崩壊の現場における地域との連携と戦い
報告者　荒井琴美（リボーン地域包括支援センター）

詳しくは今回同封のチラシをご覧ください。

人材育成・
SV支援班
7/26



実習指導者のアップデート講座を開催しました

実習指導者アップデート講座を行い48名のご参加を頂きました。

前半は廣川真之輔先生より、旧カリキュラムと新カリキュラムの変更点や基本プログラムの作成についての講義をお聞きしました。実習教育に含むべき事項は、事業所によっては実施に頭を悩ます部分もありますが「できない」ではなく「どうやったらできるか」を考える視点や代替えとしての具体的な方法等、実践に活かすことができる内容でした。

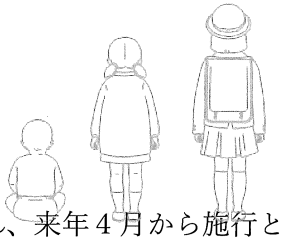
後半は、グループで話し合いを行い、実際に基本プログラムを作成しました。

最初は新しい基本プログラムに戸惑や不安な様子も見えましたが、意見交換をし、作成する中で、最後には何となく分かってきたという声を聞くことができました。また、社会福祉士っておもしろい、わくわくすると実習生に思ってもらえるプログラムを作成してみたいという意見も聞かれ、実習指導を前向きにとらえてもらえる研修が行えたと感じています。

（報告者：人材育成・SV支援班運営委員　柳沼裕子）

生活支援班

子どもをとりまく現状・課題と子ども家庭支援の制度について学びませんか？



2023.12.17（日）

13:30~16:00（予定）

会場：新潟テルサ 中会議室

定員：50名

講師：小池 由佳 教授

（新潟県立大学／当会理事）

内容：講義とｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ

令和４年６月に児童福祉法の一部が改正され、来年４月から施行となります。

生活支援班では、様々な生きづらさや生活上の困難を抱えている方の支援を考えたとき、子ども時代の生活課題が大きな影響を持ち続けている場合が多いのではないかという話し合いをしました。

そこで、「子どもや子育て家庭をとりまく現状と課題」を知り、その支援を考えることはすべての分野につながっていくのではないかと考え、まずは子どもと子育て家庭をとりまく「いま」を知り、制度がどう変わってきているのかを学ぶ研修を企画しています。

（生活支援班運営委員　秋山詩織）

★詳細は、11月の事務局だよりに同封するチラシをご覧ください！

★生活支援班では、年が明けてからもう1回、生活困窮者の方への支援をテーマにした研修を計画しています。

定着支援
センター
7/8

ユニゾンプラザにて、新潟大学准教授の中村健先生を講師に迎え「生活保護を考える」をテーマに研修会を行いました。

生活保護制度について、Ｑ＆Ａを考えていく講義と、グループワークでは生活保護ケースワーカーからの連携を考えるテーマで、普段とは違った視点で可能性を改めて考える事ができました。グループワークでの意見交換や、懇親会でと多職種同士の交流を深める事ができた一日でした。

次回定例勉強会は「医療との連携について」 9/22（金）19時～21時、新潟ユニゾンプラザにて実施します。問合せは ☎025-281-6010 定着支援センターまで。

店舗、医療機関、施設・事業所、学校、公共機関、その他

「まじびと」を設置してくださる場所を募集します

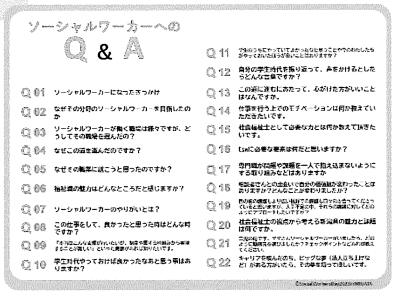
前回の事務局だよりに同封して会員のみなさまにお送りしたソーシャルワーカー啓発冊子「まじびと」。
ご一読いただけましたでしょうか。

より多くの県民の方にお読みいただきたく、会員のみなさまのお勤め先や関係する機関の窓口、行きつけのお店の店頭など、「まじびと」を設置してもいいよ～！という方は、事務局までご連絡ください。
必要部数をお送りします。

ご協力いただける方は、　①お名前　②必要部数　③送付先のご住所　を、新潟県社会福祉士会へメールでお知らせください（新潟県社会福祉士会メールアドレス：njacsw@poplar.ocn.ne.jp）

ソーシャルワーカーデイ2023

「ソーシャルワーカーへのQ&A」を公開しました



ソーシャルワーカーデイの際、イベント申込者の方に事前に「ソーシャルワーカーへ聞いてみたいこと」を募集し、たくさんの質問をお寄せいただきました。いただいた質問は7/22のイベントの中で使用するほか、『ソーシャルワーカーへのQ&A』という冊子にまとめ、参加者に配布しました。
お寄せいただいた22の質問と、それに対するソーシャルワーカー約30名からの回答をスライド資料にまとめ、当会ホームページで公開しましたので、ぜひご一読ください。

ぜひご覧いただきますとともに、みなさまの所属先等での研修やソーシャルワーク実習指導等の教材としてご活用いただけますと幸いです。

https://csw-niigata.com/activity/pr/social-worker/
（HOME ＞ 活動内容 ＞ ソーシャルワーカーに関する広報、啓発 ＞ ソーシャルワーカーデー）

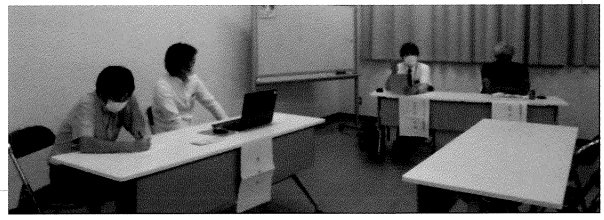
自主活動支援制度利用登録団体 活動報告

**あがの
ソーシャルサポート
研究会**

代表　中村 真治
（会員№21792）
構成員 6名（R5.4月時点）

高齢、障がい、医療、行政などの分野を超えて、阿賀野市での「身寄りのない方における問題」について実態や課題を共有し、一人一人が取り組むべき行動・実践方法を学ぶ。学習会の内容は行政機関や法人等への提言につなげていく。

7/26に学習会を開催し、所属の分野を越えた意見交換や学びの機会として行政・社協・障がい、高齢等分野の異なる多職種の参加がありました。助言者として『にいつ・さつきの法律事務所』の佐々木智之弁護士、『新潟県身寄りなし問題研究会』の須貝秀昭氏にご協力いただき、実践報告・ディスカッション形式で行いました。
昨今各地域で課題となっている「身寄りなしケースによる契約・金銭管理等の問題」について障がい・高齢などの分野の報告者から発表を受けました。当初、阿賀野市は法人後見が稼働していないこと、サービス資源が少ないことなど社会資源の課題に関心が集まることが想定されました。実際の報告や助言の中では、『地域全体で事例を積み重ねること』『地域ケア会議など積極的に活用し支援者が組織的に関わること』など前向きな意見が交わされました。改めて地域での実践を変えていくきっかけは個々で問題を意識し、声を挙げ、共有し行動することが大切と感じました。また活動が遅れている法人後見や不足している専門職後見人の問題、身寄りのない方の居所の問題について助言者より他地域の実践の紹介なども行われました。
学習会は全3回予定しており、次回は医療機関による身寄りなし課題の実践報告を予定しています。



法人格取得20周年記念事業プロジェクト、始動。

当会が「新潟県社会福祉士会」という任意団体で発足したのが1992（H４）年。
そして、任意団体から「社団法人」となり法人格を取得したのが2006（H18）年。

そこで、2026（R８）年を法人格取得20周年の記念イヤーとし、記念事業を検討することとしました（法人設立30周年は2022年でしたが、コロナ禍により記念事業は見送りました）。
まずは40歳代の若手の理事を中心として検討会を立ち上げ、方向性を話し合い、会員の皆様に協力をお願いしていく予定です。

事業実施状況報告書をより見やすく、オープンに。

内部役員会、理事会では毎回、報告書に基づき事業実施状況報告を行っていますが、会員の皆様に報告書をお示しするのは、年度の事業がすべて終わった後、翌年度の総会資料としてのみでした。

今年度から、この事業実施状況報告書を、グラフなどを使ってより関心をもって見てもらえるように体裁やデザインを一新。毎回の理事会後に、最新の事業実施状況報告書をホームページで公開していくこととしました。

行事予定

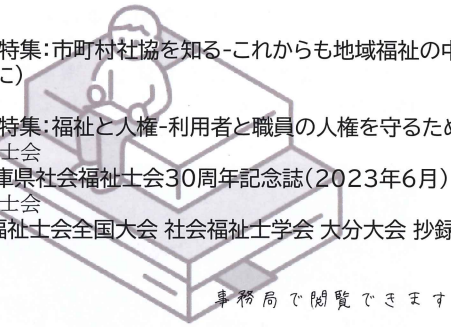
※2023年8月22日現在の予定です。日時、会場等は変更になる場合があります。
※新型コロナウィルスの感染状況や自然災害等によっては急遽中止・延期とする場合があります。その際は、開催前日までにホームページ、Facebookでお知らせしますので、ご確認をお願いいたします。

日程	内容	会場・方法
10/1	成年後見人材育成研修・4日目	ﾕﾆｿﾞﾝﾌﾟﾗｻﾞ
	ぱあとなあ本部運営委員会	ﾕﾆｿﾞﾝﾌﾟﾗｻﾞ
10/4	障がい者権利擁護チーム会議	オンライン
10/7	基礎研修Ⅲ・5日目	オンライン
10/15	国家試験受験対策講座・4日目	オンライン
10/16	総合企画会議	事務局
10/21	基礎研修Ⅱ・4日目	オンライン
	社会福祉士全国統一模擬試験	ﾕﾆｿﾞﾝﾌﾟﾗｻﾞ
10/26	第3回内部役員会	オンライン
11/1	障がい者権利擁護チーム会議	オンライン
11/11	基礎研修Ⅱ・5日目	オンライン

日程	内容	会場・方法
11/11	ぱあとなあ名簿登録研修・1日目	ﾕﾆｿﾞﾝﾌﾟﾗｻﾞ
11/12	ぱあとなあ名簿登録研修・2日目	ﾕﾆｿﾞﾝﾌﾟﾗｻﾞ
11/12	ぱあとなあ本部運営委員会	ﾕﾆｿﾞﾝﾌﾟﾗｻﾞ
11/16	虐待対応ゼミ	オンライン
11/18	ぱあとなあ下越地区研修	未定
11/19	高齢者支援班　実践報告会（仮）	ﾕﾆｿﾞﾝﾌﾟﾗｻﾞ他
11/20	総合企画会議	事務局
11/24	理事会	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ型
11/25	基礎研修Ⅲ・6日目	オンライン
11/26	国家試験受験対策講座・5日目	オンライン

当会ホームページにも年間予定カレンダーを掲載し、随時更新しています。ご確認ください。

最近届いた書籍や刊行物



・全社協
月刊福祉8月号（特集：市町村社協を知る-これからも地域福祉の中核であり続けるために）
・全社協
月刊福祉9月号（特集：福祉と人権-利用者と職員の人権を守るために）
・兵庫県社会福祉士会
一般社団法人兵庫県社会福祉士会30周年記念誌（2023年6月）
・大分県社会福祉士会
第31回日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会 大分大会 抄録集（2023年6月）

編集後記

1．前回から「目を引く紙面」をテーマに紙面の構成やデザインを見直してますが、前号発行直後、会員さんから「よかったよ～」と言っていただき嬉しかったです。わーいわーい！引き続きいろいろ試してみます。

2．最近、神社仏閣御朱印巡りにハマりました。ここのところは「新潟に雨が降りますように…！」と雨乞いばかりしています（※８月後半時点）　（は）